

平成26年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	横田宏樹
	全体計画						経費区分		-		内線	3134
事務事業名	4045 住民基本台帳等電算業務委託事業											
所 属	050200 総務部・政策推進課											
施 策	07024300 ICTによる利便性の向上と効率的なシステム運用											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	020115 総務費・総務管理費・情報化推進費										
	事業	010000 住民基本台帳等電算業務委託事業										
事業目的						事業概要・効果						
住民基本台帳を基に構成される電算システムの活用により、住民サービスの向上を図る。						住民基本台帳等基幹系システムの活用により、正確で迅速な処理が行える。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
住民基本台帳等基幹系システムの活用により、正確で迅速な処理を行った。	住民基本台帳等基幹系システムの活用により、正確で迅速な処理を行った。
平成24年度 実績	平成25年度 実績
基幹系システムの更改を行なった。 住民基本台帳等基幹系システムの活用により、正確で迅速な処理を行った。	住民基本台帳等基幹系システムの活用により、正確で迅速な処理を行った。
平成26年度 予定	平成27年度 予定
住民基本台帳等基幹系システムの活用により、正確で迅速な処理を行う。	

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		15,057	15,709
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		15,057	15,709
人員数(人)	正規職員	1.0	1.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	6,858.0	6,858.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	6,858.0	6,858.0
市民一人当たりの経費		0.4	0.4
総額		21,915.0	22,567.0

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	1,880	保守点検委託料、基幹系システムネットワーク配線再構築
15節 工事請負費	1,197	電算室空調設備入替工事
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	11,980	機器賃借料、システム使用料

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	200	基幹系システム機器故障に係る修繕料
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	15,509	機器賃借料、システム使用料

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	事務処理のために必要不可欠のシステムであり、事務効率の向上につながる。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	事務処理のために必要不可欠のシステムであり、事務効率の向上につながる。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	平成24年度10月にシステム更改済（次回更改：平成29年10月）	

振り返り（決算年度の取組み課題）

予定通り履行できた。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
総合評価コメント	
事務処理のために必要不可欠のシステムであり、更なる事務効率向上や、適正管理の徹底に努めたい。	

2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
2次評価コメント	
更なるシステムの適正管理に向け委託業者などの指導に努めてほしい。	

外部評価

次年度以降の方向性
外部評価コメント